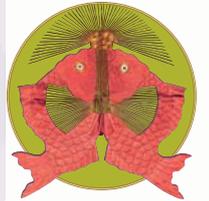
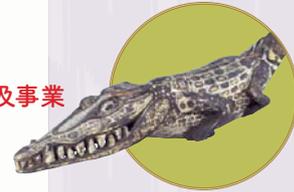


東京国立博物館 ニュース

2016 2017
12-1

展示と催し物案内
第740号

2-3 🍀 「博物館に初もうで」 / 4 🍀 特別展「春日大社 千年の至宝」
5 🍀 特別展「平安の秘仏—滋賀・櫛野寺の大観音とみほとけたち」 / 特別展「茶の湯」
6-11 🍀 総合文化展 / 11 🍀 保存と修理情報® / 12-13 🍀 みどりのライオン 教育普及事業
13 🍀 トーハクくんのなるほトーハク / 14-15 🍀 イベント&インフォメーション
16 🍀 2016年12月・2017年1月の展示・催し物



おめでたい名品で新年を祝う

「博物館に初もうで」



お正月に見たい!

干支の酉

特集

「博物館に初もうで 新年を寿ぐ鳥たち」

2017年の干支である酉にちなんで、「暁の鳥」「祝の鳥」という二つのテーマのもとに、鳥を表した美術工芸品を展示します。まずは「暁の鳥」。十二支の酉は鶏の姿で表されることが通例なので、鶏をモチーフとする作品を展示します。そして「祝の鳥」。ここでは主に吉祥を表す作品を展示しますが、そのなかには実在の鳥ばかりでなく、人間の豊かな想像力が生み出した鳳凰などの瑞鳥もあります。
(猪熊兼樹)



◎竹鶏図

藕窓筆
中国 南宋時代・13世紀

鋭く前方を見据え、威厳にみちた鶏の姿を見事に表した傑作です



桐鳳凰時絵鞍

江戸時代・18世紀
小野速信氏寄贈

聖帝の治世に出現する伝説の鳥鳳凰を時絵で表した華やかな鞍

ほうおう 鳳凰

いろんな鳥が勢ぞろいよ!

2017年
1月2日(月・休)
1月29日(日)
本館特別1室・特別2室



花鳥図屏風

海北友雪筆
江戸時代・17世紀
海北友松の子で宮中でも活躍した。海北友雪の珍しい花鳥画の大作です

しょうきん 小禽

正月限定!
カレンダー付きワークシート
1月2日・3日の2日間、先着3000名様に特集「博物館に初もうで 新年を寿ぐ鳥たち」を楽しむためのワークシートをお配りします。2017年カレンダー付き!
配布場所:本館1室前
1月2日(月・休)、3日(火)
各日11:00～16:00 ※なくなり次第終了

博物館に

2017年
1月2日(月・休)
1月29日(日)

新春気分を盛り上げる展示・イベントが盛りだくさん!



お正月に見たい!

め下たいもの

吉祥モチーフいろいろ



芭蕉孤鶴図

本館8室 黒川亀玉筆
江戸時代・18世紀
2017年1月2日(月・休)
～2月5日(日)



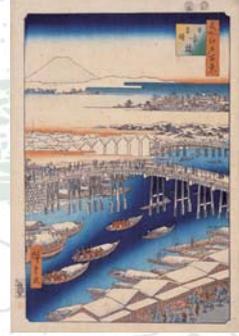
色絵松竹梅文瓶

本館8室
伊万里
江戸時代・17世紀
～2017年1月29日(日)



小袖 紅綸子地竹梅 鶯 文字模様

本館10室
江戸時代・18世紀
2017年1月2日(月・休)
～2月26日(日)



名所江戸百景・日本橋雪晴

本館10室
歌川広重筆
江戸時代・安政3年(1856)
2017年1月2日(月・休)～1月29日(日)

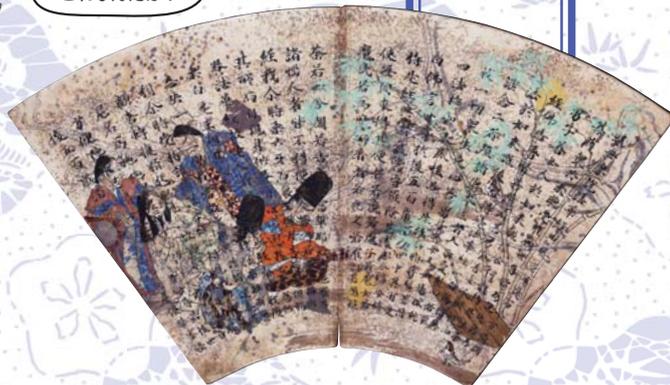
お正月気分が盛り上がるほー!



松林図屏風 長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀 (左隻)
 本館2室 2017年1月2日(月・休)～1月15日(日)
 墨の濃淡だけで、木々が織りなす光と風の情景が生みだされています



古今和歌集(元永本)上帖 平安時代・12世紀 三井高大氏寄贈
 本館3室 2017年1月2日(月・休)～1月15日(日)
 現存最古の「古今和歌集」完本。唐紙と、仮名の連綿の美が見事です



扇面法華経冊子 平安時代・12世紀
 本館3室 2017年1月2日(月・休)～1月15日(日)
 大胆にも、美しいやまと絵の扇面に法華経の経文を記す、類例のない装飾経



西湖春景・銭塘観潮図屏風 池大雅筆 江戸時代・18世紀
 本館7室
 2017年1月2日(月・休)～2月5日(日)
 中国に行ったことがなくても描けちゃいます。大雅の非凡な想像力に脱帽!



舟橋時絵硯箱 本阿弥光悦作 江戸時代・17世紀
 本館12室
 2017年1月2日(月・休)～3月20日(月・祝)
 正月の華やぎにもふさわしい、金や銀をふんだんに用いた豪華な佇まい

新春特別公開

お正月に見たい!
 トーハクのお正月の名品



初もうで

トーハクのお正月の定番となった国宝「松林図屏風」をはじめとする名品の特別公開、新年の干支「酉」や吉祥をテーマにした作品の展示、さらには和太鼓や獅子舞などの伝統芸能でお正月気分を盛り上げます。トーハクで日本のお正月をお楽しみください。

◆ 2017年1月2日(月・休)

10:30	和太鼓	批懸鼓	本館前
11:10	曲独奏	三増紋之助/落語	三遊亭歌奴 大講堂
11:50	獅子舞	東都葛西囃子中村社中	本館前
13:10	和太鼓	批懸鼓	本館前
13:50	曲独奏	三増紋之助/落語	三遊亭歌奴 大講堂
14:30	獅子舞	東都葛西囃子中村社中	本館前

◆ 2017年1月3日(火)

10:30	和太鼓	湯島天神白梅太鼓	本館前
11:10	曲独奏	三増紋之助/落語	三遊亭歌奴 大講堂
11:50	獅子舞	東都葛西囃子中村社中	本館前
12:30	クラリネット・コンサート	ジュリアンズ	平成館ラウンジ
13:10	和太鼓	湯島天神白梅太鼓	本館前
13:50	曲独奏	三増紋之助/落語	三遊亭歌奴 大講堂
14:30	獅子舞	東都葛西囃子中村社中	本館前
15:10	クラリネット・コンサート	ジュリアンズ	平成館ラウンジ

※大講堂=平成館大講堂
 ※雨天時は、場所を変更、または中止になることがあります。

◆ 寛永寺根本中堂特別参拝

2017年1月2日(月・休)、3日(火) 10:00～15:00
 根本中堂、徳川歴代将軍の肖像画(油画)、四天王像(江戸時代・元和6年(1620)台東区登録文化財)、十二神将像(江戸時代・元禄15年(1702))を公開します。また当館観覧券の半券(当日分)をご提示いただくと、散華をお渡します。

◆ VR作品無料上演

2017年1月2日(月・休)、3日(火)の2日間、VR作品「江戸城の天守(仮)を東洋館ミュージアムシアターにて無料上演します。
 上演時間:両日とも10:00、11:00、12:00、13:00、14:00、15:00、16:00
 ※上演時間を一部変更する場合があります。
 定員:各回ともに90名
 ※鑑賞には東洋館前で9:30より配布する整理券が必要です。

◆ いけばな

2017年1月2日(月・休)～1月15日(日)
 正門、本館玄関、本館エントランス
 池坊・蔵重伸氏

◆ ミュージアムショップからお年玉

2017年1月2日(月・休)、3日(火)
 ●ミュージアムショップで2,000円以上お買い上げのお客様、先着600名様にミュージアムグッズをプレゼント
 ●美術図書バーゲンセール ※本館ミュージアムショップのみ

◆ ホテルオークラレストラン ゆりの木からお年玉

2017年1月2日(月・休)、3日(火)
 ゆりの木ご利用のお客様、先着150名様に伊予の水引の箸置きをプレゼント

新春イベント

お正月に見たい!
 にっぽんの伝統芸能





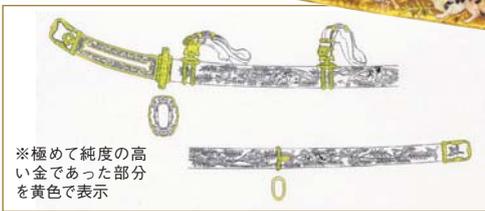
平安工芸の 最高峰

「平安の正倉院」とも呼ばれている春日大社。神々の調度品として奉納された古神宝は平安貴族の美意識を反映し、当時最高の技術を用いて作られたものです。

●金地螺鈿毛抜形太刀

平安時代・12世紀 展示期間：1月17日(火)～2月19日(日)

柄や鐔の素材が極めて純度の高い金であることが判明した、まばゆく輝く黄金の太刀。雀を追う螺鈿の猫がなんと秀逸です



※極めて純度の高い金であった部分を黄色で表示

特別展

春日大社

千年の至宝

平成館
特別展示室

2017年1月17日(火)～3月12日(日)

3つの見どころをチェック!

春日大社の至宝が一堂に会するかつてない規模の展覧会が、いよいよ始まります! 今回は本展担当の土屋貴裕研究員が、その見どころを3つのポイントに絞ってご紹介します。



奉納された甲冑・刀剣

春日大社には、歴史上の偉人たちから多くの甲冑や刀剣が奉納されました。こうした奉納品が伝わるのも、春日大社が公家・武家をはじめ多くの人々の深い祈りに支えられてきたことを物語ります。

国宝甲冑 4領そろいぶみ

2月14日(火)～19日(日)
の6日間は、門外不出の
国宝甲冑4領が揃って見ら
れる史上初の機会!



●赤糸威大鎧(梅鶯飾)

鎌倉時代・13世紀
展示期間：1月17日(火)～2月19日(日)

日本の甲冑を代表する華麗な大鎧。梅に鶯や蝶、さらに小さな虫を飾る鍍金金具が随所に打たれています

●赤糸威大鎧(竹虎雀飾)

鎌倉～南北朝時代・13～14世紀
展示期間：2月14日(火)～3月12日(日)

神への奉納品としてふさわしい豪華な甲冑。竹と雀、そして大袖の竹と虎の鍍金金具がひときわ目をひきます

●黒韋威伊予札胴丸

南北朝～室町時代・14世紀
展示期間：1月17日(火)～
2月19日(日)

中世後期に甲冑の主流となった胴丸。袖と兜を完備する初期の作例で大変貴重です

●黒韋威胴丸

南北朝～室町時代・14世紀
展示期間：2月14日(火)～
3月12日(日)

制作当初の部分が極めてよく残る胴丸。枝菊紋の金物も非常に細やかに彫られています

かすがたいしゃ

春日大社 奈良公園内(奈良県奈良市)にある神社で、創建は奈良時代。全国に約3000ある春日大社の総本社です。「式年造替」と呼ばれる社殿の建て替えや修繕が約20年に一度行われ、2016年には60回目を迎えました。千年のときを超え、数多くの宝物が伝わり、国宝・重要文化財の所蔵数も日本有数の規模を誇ります。また、春日大社、春日山原始林を含む「古都奈良の文化財」はユネスコの世界遺産にも登録されています。



春日大社 中門 撮影：桑原英文

特別展

平安の秘仏

The Hidden Buddha of Rakuyaji Temple, Shiga

滋賀 樂野寺の大観音とみほとけたち

本館 特別5室

9月13日(火)
～12月11日(日)

一問一答「この仏像が一番！」

本展を担当する西木研究員に質問！本展で展示されている仏像のなかから、西木研究員のいろいろな「一番」を教えてください。

Q. 一番おすすめのお仏像は？

じゅういちめんかんのんぼさつざぞう

A. 重文 十一面観音菩薩坐像

まず大きさに圧倒されますが、重量感にあふれる表現も見どころです。ぜひ側面にもまわってご覧ください。



Q. 一番思い入れのある仏像は？

じぞうぼさつざぞう

A. 重文 地蔵菩薩坐像

削り抜かれた像内に記された墨書銘から、制作経緯がわかる貴重な作品。仏像に託された人々の思いを感じます。



Q. 一番お気に入りの仏像は？

きちじょうてんりゅうざう

A. 重文 吉祥天立像

着衣などに鑿跡が残る「鉦彫」の作品です。顎が尖り、ほっそりとした独特の雰囲気にも味わいがあります。



作品はすべて滋賀・樂野寺蔵

【開催概要】主催：東京国立博物館、樂野寺、読売新聞社／後援：TBSラジオ／協賛：日本写真印刷／協力：日本通運／観覧料：一般1,000円(900円)、大学生700円(600円)、高校生400円(300円)＊()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料 ＊障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください)／お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600／展覧会公式サイト：http://hibutsu2016.com/



神々しくも愛らしい 神鹿の姿

たけみかづのみこと

春日大社第一殿の祭神である武甕槌命は鹿に乗り春日の地に降臨したことから、鹿は神聖視され多くの造形に表されました。会場の随所で遊ぶ「神鹿」の姿を探してみてください。



(部分)

かすがこんげんげんきえ かすがぼん
春日権現験記絵(春日本)巻第十二
江戸時代・文化4年(1807)
場面替有 ＊この場面は1月17日(火)～
2月12日(日)

春日の神々の霊験を描く全二十巻の絵巻のうちの巻第十二。鹿に囲まれる牛車には春日三宮が化身した地蔵菩薩の姿が



しかずびらぶ
鹿図屏風
江戸時代・17世紀

輝かしい金地に様々な姿態をみせる鹿の群れ。なかには神々しい白鹿の姿も見られます

作品はすべて奈良・春日大社蔵

関連イベント

記念講演会 事前申込制

「春日の歴史と神様にささげた究極の宝」

日時：2017年2月12日(日) 13:30～15:00(13:00開場予定)

講師：花山院弘匡(春日大社宮司)

会場：平成館大講堂

定員：380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に、郵便番号・住所・参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

＊1枚のはがきで最大2名の申込可。

申込先：〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋郵便局留

「春日大社 千年の至宝」記念講演会事務局 行

申込締切：2016年12月28日(水) 必着

南都楽所の演奏会

日時：2017年1月25日(水) 11:00～、14:00～(各回40分程度)

会場：平成館大講堂

定員：380名(先着順)

＊すべて参加・聴講無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可。その場合は別途入館料が必要)

【開催概要】主催：東京国立博物館、春日大社、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社／協賛：岡村印刷工業／観覧料：一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)＊()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 ＊障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) ＊前売券は10月1日(土)～2017年1月16日(月)、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイト、主要プレイガイドほかにて販売／お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600／展覧会公式サイト：http://kasuga2017.jp/

茶の湯

特別展

平成館 特別展示室

2017年4月11日(火)
～6月4日(日)



●志野茶碗 銘 卯花壇

美濃 安土桃山時代・16～17世紀
東京・三井記念美術館蔵

和物茶碗第一の名碗といわれ、江戸の豪商冬木家を経て三井家に伝わりました

日本文化の象徴ともいえる茶の湯の歴史を、室町時代から近代まで大規模に展覧する特別展です。天下の武將や茶人が手にした門外不出の名器をはじめ、この機会にしか見ることのできない貴重な作品が一堂に会するという、夢の展覧会！茶の湯をテーマにした展覧会は、トータルで37年ぶりの開催となります。どうぞ、お楽しみに。(三笠景子)

【開催概要】主催：東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、毎日新聞社／協賛：日本写真印刷、三井物産／観覧料：一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1000円/900円)、高校生900円(700円/600円)＊()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 ＊障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) ＊前売券は12月5日(月)～2017年4月10日(月)、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイト、主要プレイガイドほかにて販売／お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600／展覧会公式サイト：http://chanoyu2017.jp/

注目の特集



注目

古典を学んで創り上げた独自の造形世界

特集 生誕百年記念

「小林斗盦 篆刻の軌跡」

「印の世界と

中国書画コレクション」

12月23日(金・祝)

東洋館 8室

この特集は、篆刻家として初めて文化勲章を受章した、小林斗盦の魅力にあふれた業績をお伝えする展覧会です。全体は6部から構成されています。第1部と第2部では、小林斗盦が学んだ代表的な古典と斗盦の篆刻を並べて展示するとともに、若年から晩年までの作風の軌跡を尋ねます。第4部では数々の名品を生み出した愛用の文房具などを展示、第3部と第5部では斗盦が収蔵した篆刻と書画のコレクションをご紹介します。そして第6部では、政界・学界・文壇・芸苑で活躍する名士に斗盦が刻した数々の印を通して、その華やかな交友関係を窺います。小林斗盦は、生涯をかけて古典に對峙し続けました。古典の美しさを咀嚼して繰り広げられる斗盦ワールドをお楽しみください。

(富田淳)



花鳥図摺扇

任薰筆 中国 清時代・19世紀 個人蔵

海上派を代表する任薰(じんくん)は、もっとも花鳥画を得意としました



篆書「躑躅一塵」扁額

吳昌碩筆 中国 中華民国時代・民国13年(1924) 個人蔵

展示期間: 12月13日(火)~12月23日(金・祝)

清末から民国の初めに活躍した吳昌碩(ごしょうせき)の額は、いつも書斎を飾っていました

篆刻の魅力
墨のニジミ、筆の肥瘦、刀の切れ味、石の欠けぐあい。小さな印面には様々な要素が融合し、壮大な世界が現れます

印でたどる斗盦ワールド

34歳の刻



「耕鑿誰知帝力尚羊人在羲皇」白文印

小林斗盦刻 昭和25年(1950) 個人蔵
日展で1回目の特選を受賞した作

斗盦所用の文房具。展覧会場には斗盦の書斎を再現した展示も



富田研究員のおすすめ

60歳の刻



「大象無形」朱文印

小林斗盦刻 昭和51年(1976) 個人蔵
第8回改組日展文部大臣賞受賞

90歳の刻



「游子藝」朱文変形印

小林斗盦刻 平成18年(2006) 個人蔵
日展作品集の表紙を飾った大作



主催・東京国立博物館、読売新聞社
企画協力・謹慎書道会

注目

近くて遠い? 南太平洋を知ろう

特集「南太平洋の生活文化」

12月23日(金・祝)

平成館 企画展示室

南太平洋には大小数万の島々が点在し、これらの地域をオセアニアと称します。約4000年前、アジアに起源をもつ人々が海を越えてオセアニアに拡散し、各地で独自の生活文化を発展させました。当館では19世紀後半から20世紀初頭にかけて南太平洋の島々から将来された民族資料を所蔵しています。当時の南太平洋では、伝統的な暮らしや信仰が近代文明の影響を受けて急激に変わりつつありましたが、そのために所蔵品のなかには、すでに現地では見られなくなったような資料もあります。本特集では、当館所蔵の南太平洋の民族資料のなかから、伝統的な生活や儀式にかかわる器物・衣類・建築模型などを展示することで、日本に隣接していながらあまり知られていない南太平洋の生活文化の一端を紹介します。また、通常はオセアニアに含まれない台湾の民族資料も、南太平洋のものと比較するために展示します。

も、南太平洋のものと比較するために展示します。

(猪熊兼樹)

石貨

ミクロネシア、ヤップ島
19世紀後半
田口卯吉氏寄贈
ヤップ島で用いられた石の貨幣。よその島で作られて運ばれてきました



ワニ像

メラネシア、ニューギニア島北東部
19世紀後半~20世紀初頭 藤川政次郎氏寄贈
ニューギニア島で暮らすワニを祖先として信じる部族が作った彫刻です



本館 日本に出会う

本館 3室 仏教の美術

おだやかで優美な装飾経

国宝
法華経 方便品
(竹生島経)

12月11日(日)

琵琶湖に浮かぶ竹生島の宝厳寺に伝来したことから、「竹生島経」とよばれる法華経です。もとは8巻あったと思われませんが、現在は、その巻第一のうちの「方便品」と「序品第二」(滋賀・宝厳寺蔵)のみが知られ、ともに国宝です。平滑で光沢のある雁皮紙に、金銀泥を使って瑞鳥、草花、蝶、靈芝、雲などの下絵をやや大ぶりに描き、金界を引いて本文を書写しています。日本的な主題の下絵と、端正で優美な和様の筆致が調和して、見る人をほっとさせる雰囲気があります。

(高橋裕次)



(部分)

法華経 方便品 (竹生島経)

平安時代・11世紀

日本的な主題で描かれた下絵は、平安時代の絵画としても貴重です

本館 13室 陶磁

新春にこそ見たい！
トータルを代表する華やかな名品

重文
色絵月梅図茶壺

2017年1月2日(月・休)〜3月20日(月・祝)



梅樹の間からのぞき満月

◎色絵月梅図茶壺

仁清
江戸時代・17世紀

銀泥で表された白梅と月は、今では黒ずんでいます。制作当初の輝きはどれほどだったことでしょう！

紅白の花が咲き誇る梅樹の間から、満月をのぞむ―新しい年の訪れを寿ぐのにふさわしい、優雅な情景を描いた色絵茶壺です。江戸時代前期の京焼陶工、野々村仁清は、轆轤を得意とし、華やかな色絵陶器を数多く作りました。この作品では、壺の側面全体にわたって梅樹が描かれ、その間に源氏雲が漂い、花が多く咲く反対側の上部には月が表されています。仁清は、絵画的な表現を壺という曲面に破綻なく描きあげました。ぜひじっくりと陶工の卓越したわざと表現をご堪能ください。

(横山梓)

本館 14室

おめでたい模様で祝つお正月

特集
「掛袱紗」

「祝つ心を模様にくす」

12月20日(火)〜2017年2月19日(日)

掛袱紗は、祝儀の品の上に掛ける覆いのことです。江戸時代、年始の挨拶や節供、中元や歳暮、婚礼や長寿のお祝いなど、折々の行事や祝儀に合った吉祥模様の袱紗が制作されました。刺繍や友禅染、綴織など絵画表現に適した技術をいかした模様には、人々の吉事を祝う心が込められています。おめでたいお正月に、袱紗の模様を「物語・説話絵」「吉祥模様」「武家模様」「神仏と祭り」の四つのテーマで展示します。模様の意味を読み解きながら、江戸時代における祝う心の表現をご覧ください。(小山弓弦葉)



袱紗
紺縞子地鯛模様

江戸時代
18〜19世紀
アンリー夫人寄贈

縞に繫いだ2尾の鯛を刺繍した、めでたさ全開!のデザインです

本館 15室 歴史の記録

当時から伝える貴重な調査記録

特集
「臨時全国宝物取調局の活動」

「明治中期の文化財調査」

12月20日(火)〜2017年2月19日(日)



◎紅白芙蓉図 李迪筆

中国 南宋時代・慶元3年(1197)

展示期間: 12月20日(火)〜1月9日(月・祝)

全国各地の美術品が宝物調査の対象になりました。当館を代表する名品の本作品もその一つです

明治21年(1888)に発足した臨時全国宝物取調局は、全国の宝物台帳を作成することを目的として文化財の調査と登録を行いました。取調局委員長となった九鬼隆一は翌年に当館(当時は帝国博物館)の総長となり、他にも取調局員と博物館職員の間がみられることから当館との連携がうかがえます。5000件を超える調査記録・写真資料は今年度重要文化財に指定されました。当時作成された記録と、調査対象となった作品から9年間にわたる文化財調査の実際とその業務を引き継いだ博物館の活動をご紹介します。(三輪紫都香)



12/11 日

●**櫻鳥系肩赤威胴丸**

室町時代・15世紀
秋田一季氏寄贈
兜、袖を完備した貴重な胴丸の作例で、威や金物も装飾的で華やかです

4 茶の美術

2017/1/2 月・休 3/20 月・祝

●**志野茶碗 銘 橋姫**

美濃
安土桃山～江戸時代・16～17世紀
松永安左工門氏寄贈
志野茶碗のなかでもことに大きく、堂々としています



12/11 日

●**青磁鳳凰耳花生**

中国・龍泉窯
南宋～元時代・13世紀
松永安左工門氏寄贈
上質な青磁の花生は、古くから多くの茶人に愛玩されてきました



本館 ⑤ 室

武士の装い
—平安～江戸

本館 ④ 室

茶の美術

3 -3

3 禪と水墨画
—鎌倉～室町

12/11 日

●**文殊菩薩像**

墨彩筆
龍崗真圭賛
室町時代・15世紀
線の達人、墨彩による多彩な線描のテクニックにご注目ください



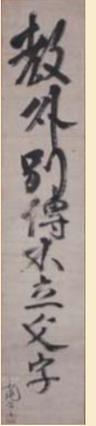
2017/1/2 月・休

2/5 日

一行書

●**「教外別傳 不立文字」**

一休宗純筆
室町時代・15世紀
真の仏の教えは言葉の外にある、という禅の根本を説いた八文字



術の流れ
戸まで、どる日本美術史

本館 ③-③ 室

禪と水墨画
—鎌倉～室町

本館 ③-2 室

宮廷の美術
—平安～室町

3 -2

3 宮廷の美術
—平安～室町



1/17 火 2/5 日

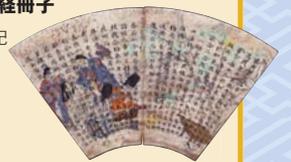
●**古今和歌集切(巻子本)**

藤原定実筆
平安時代・12世紀 森田竹華氏寄贈
蠟箋(ろうせん)という珍しい紙に調和する流麗な筆運びです

2017/1/2 月・休 1/15 日

●**扇面法華経問字**

平安時代・12世紀
→本誌3ページ



入口

本館 ①-① 室

日本美術のあけぼの
—縄文・弥生・古墳

本館 ①-② 室

仏教の興隆
—飛鳥・奈良

本館 ② 室

国宝室

12/11 日

●**寛平御時后 宮歌合(十巻本歌合)**

伝宗尊親王筆 平安時代・11世紀

歌合を書写したもので、紀貫之や素性法師など著名な歌人が名を連ねています



(部分)

2

2 国宝室

2017/1/2 月・休

1/15 日

●**松林図屏風**

長谷川等伯筆
安土桃山時代・16世紀
→本誌3ページ



(左隻)

(部分)

1/17 火 2/12 日

●**楼閣山水図屏風**

池大雅筆
江戸時代・18世紀 團伊能氏寄贈
中国の有名な景勝地を描いた屏風。金地に映える人物の鮮やかな色彩にご注目ください



(部分)

2017/1/2 月・休

2/5 日

●**賢恵経断簡(大聖武)**

伝聖武天皇筆
奈良時代・8世紀
筒井邦子氏寄贈
賢者と愚者に関する話を集めた経典で、聖武天皇の筆跡と伝えています



(部分)

1 -2

1 仏教の興隆
—飛鳥・奈良

2017/4/23 日

●**興福寺鎮壇具(ガラス玉)**

奈良市興福寺中金堂須弥壇下出土
奈良時代・8世紀

黒鉛と白石を溶かして溶かし、緑青や赤土で着色したガラス玉。興福寺建立時に埋納された鎮壇具の一部です



3 -1

3 仏教の美術
—平安～室町

2017/1/2 月・休 2/5 日

●**毘沙門天立像**

平安時代・応保2年(1162)頃
川端龍子氏寄贈
施主の願いをこめて、毘沙門天の版画が像内に納められていました



12/11 日

●**法華経 方便品(竹生鳥經)**

平安時代・11世紀

金銀泥で瑞鳥、蝶などの下巻を描き、端正で優美な法華経の名品です



(部分)



7

屏風と襖絵

— 安土桃山・江戸



(右隻)

2017/1/2 月・休

2/5 日

◎西湖春景・
銭塘観潮図屏風

池大雅筆 江戸時代・18世紀
→本誌3ページ

12/11 日



(部分)

◎車争図屏風

狩野山楽筆
江戸時代・慶長9年(1604)
もと九条幸家の御殿の襖絵。
山楽やまと絵の名品です

5

6

武士の装い

— 平安～江戸

2017/1/2 月・休

3/12 日

◎黒系威二枚胴具足
江戸時代・17世紀
徳川家康の四天王の1人、
榊原康政が用いたもの
で、当世具足の優品です



本館 7 室

屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸



本館 6 室

武士の装い
— 平安～江戸

ラウ

8

1

暮らしの調度

— 安土桃山・江戸

2017/1/29 日

壽老人大香炉

讀齋
仁阿弥道八作
江戸時代・天保14年(1843)
小倉安之氏寄贈
京焼の名工、仁阿弥道八が
高松藩の讀齋に招かれて制
作しました



2017/1/29 日

群鶴時絵硯箱

江戸時代・18世紀 松永安左工門氏寄贈
大胆な構図と鉛板の使い方が、当時人気
の光琳風です



本館 8-1 室

暮らしの調度
— 安土桃山・江戸

本館 8-2 室

書画の展開
— 安土桃山・江戸

8

2

書画の展開

— 安土桃山・江戸

12/11 日

一行書「直透萬重関」

沢庵宗彭筆
江戸時代・17世紀
山本富子氏・賢二氏寄贈
反骨の禅僧、沢庵の墨跡。
『臨濟録』からの一句です



2017/1/2 月・休

1/15 日

東行記

烏丸光広筆
江戸時代・17世紀
歌と絵でつづる、江戸時代
初期の公卿、烏丸光広の旅
日記です



2017/1/2 月・休 2/5 日

新三十六歌仙図帖(下帖)

狩野探幽筆 江戸時代・寛文4年(1664)
織細にして華麗、將軍綱吉に嫁ぐ娘に鷹司房
輔が贈った名品です



9

能と歌舞伎

12/11 日

幕末に大奥で活躍した
坂東三津江の衣装を中心
に、主として男性役の衣
装を展示します。



羽織・着付 萌黄縹子地的矢模様

江戸時代・19世紀 高木キヨウ氏寄贈
梶原源太景季の衣装と伝わる1領。
その騎射の腕を象徴するデザイン



2017/1/2 月・休 2/26 日

能装束や中啓に表される伝統的な
日本の吉祥模様をご覧ください。

唐織 紅地椿牡丹蝶宝模様

江戸時代・19世紀 文化庁蔵
「長春花」と称される椿、富貴の花である
牡丹など吉祥に満ちたデザインです

【衣装】

12/11 日

紅葉や雪景色など秋から冬にかけての
意匠や風景模様を中心に紹介します。

小袖 浅葱縮緬地花紅葉籠模様

江戸時代・18世紀
多彩色で繊細に色を挿し優雅に染められた
友禅染の小袖です



2017/1/2 月・休 2/26 日

吉祥模様を表した華やかな女性の晴着を紹介します。

◎小袖 黒紅輪子地草木鶴電幾何学形模様

江戸時代・17世紀
さまざまな吉祥模様を表した江戸時代初期の晴着です

総合文化展 | 見どころ案内

本館 2 階

[12月01月]

日本美

縄文から江 ほんものでた



特別2室

本館 9 室

能と歌舞伎

本館 10 室

浮世絵と衣装
— 江戸

出口

10

浮世絵と衣装 — 江戸

(部分)

【浮世絵】

12/11 日

葛飾北斎や喜多川歌麿によ
る「仮名手本忠臣蔵」を題材
とした作品を中心にご紹介し
ます。

武家煤払の図

喜多川歌麿筆
江戸時代・19世紀
大掃除の絵ですが、なにやら
討ち入りのようにも見えます



2017/1/2 月・休 1/29 日

お正月にちなんで、羽根突や万歳、吉祥モチーフを
描いた作品を紹介します。

隅田川図巻 鳥文斎栄之筆 江戸時代・19世紀

恵比須、大黒天、福祿寿が隅田川を上って吉原通い。
3福神が揃って縁起が良い

東洋館

アジアを旅する

東洋館 5室
「中国の染織」

お正月にはおめでたいもの尽くし

「宝尽文様」

2017年1月15日(日)

仏教観に基づいた八つの宝物を八宝と呼びます。中国・明時代には八宝が吉祥文様として発展し、八宝が八人の仙人になぞらえられ「暗八仙」と称される文様も生まれました。また、八宝以外にもさまざまな宝文が組み合わせられることもあり、室町時代に中国から渡ってきた金欄や緞子の織文様にも表され、江戸時代の茶人たちが名物裂として愛好しました。当館の名物裂コレクションの中から、さまざまな宝尽文様をその意味とともに紹介し、中国における吉祥の表現をご覧いただけます。

(小山弓弦葉)



金地金欄 紫地宝尽文様 (部分)

中国 明時代・16～17世紀 前田家伝来
地文様もキラキラ輝く金欄の宝尽文様。さて、八つの宝とその意味は…
答えは展示室で見つけてください!

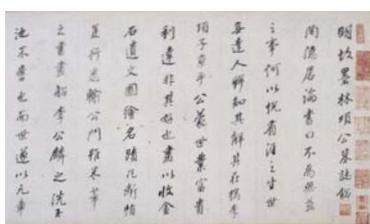
東洋館 8室
「中国の絵画・書跡」

中国書画史を変えた大家

「董其昌とその時代」

「明末清初の連綿趣味」

2017年1月2日(月・休)～2月26日(日)



明故墨林公墓誌銘 (部分)
行書 董其昌筆 董其昌書
中国 明時代 崇禎8年(1635) 高島菊次郎氏寄贈
大コレクター・項元汴(こうげんべん)のもとで、董其昌は書画に開眼しました



溪山絶塵図 呉彬筆 中国 明時代 万曆43年(1615)
個人蔵 展示期間:2017年1月2日(月・休)～1月15日(日)
明末のエキセントリック絵画は、見る者を圧倒します

2016年は、書画の実作と理論をよくし、偉大な収蔵家でもあった董其昌の没後380年にあたります。董其昌は唐の顔真卿や東晋の王羲之らを学び、当時の形式化した書を否定して、平淡な書風を理想としました。画は、宋や元の諸家の作風を広く学び、文人画の伝統を継承しつつ、急進的な奇想派の嚆矢となる作例も残しています。この特集では、中国書画史の流れを大きく変え、後世にも影響を与え続けた董其昌の魅力に迫ります。台東区立書道博物館との連携企画第14弾!ご期待ください。(富田淳)

東洋館 10室
「朝鮮の仏教美術」

トーハクの朝鮮の緑釉が勢ぞろい

「緑釉千鳥形磚」

2017年5月7日(日)

『三国遺事』によると、新羅の都・慶州の四天王寺は、文武王の9年(669年)に建てられました。当時、新羅はライバルの百済と高句麗を破り、中国の唐との対決に備えていました。

四天王寺では多くの緑釉磚が出土しています。磚とはレンガのことです。鉛分を含む釉薬を掛けて焼くと、緑色に発色します。これが緑釉磚です。新羅では6世紀ごろから緑釉が作られ始めていました。写真の磚は、両側の縁が曲線で、互いに組み合わせることで敷き詰められるようになっています。東洋館10室では、他にも緑釉作品を展示中。今なら、当館所蔵のほぼすべての朝鮮の緑釉をご覧いただけます。(白井克也)



緑釉千鳥形磚
伝韓国慶州四天王寺跡出土
統一新羅時代・7世紀
小倉コレクション保存会寄贈
たくさんの磚を、曲がついた面どうし組み合わせました

東洋館 13室
「アジアの民族文化」

新キャラクターをお披露目します

「インドネシアのワヤン」

2017年1月15日(日)



ワヤン・クリ ウモ
インドネシア、中部ジャワ 20世紀後半
田枝豪氏寄贈
鮮やかな彩色もワヤン・クリの魅力です

水牛の革で作った影絵人形、ワヤン・クリでは、古代インドの叙事詩『マハーバータ』や『ラーマヤナ』などの登場人物が表現されています。従来、当館のワヤン・クリには女性の人形が少なかったのですが、昨年度、田枝豪氏のコレクションの寄贈を受けて、新たな女性キャラクターを加えました。
ウモはサンスクリットのウマー(パールヴァティ)に当たり、宇宙を支配する神ブトロ・グル(サンスクリットのシヴァ神)の妻です。頭の花飾がウモの特徴です。(白井克也)

法隆寺宝物館

宝物に浸る

平成館

考古で遊ぶ

●平成館 考古展示室

これぞ、ザ・土偶です

重文 遮光器土偶

12月6日(火)〜2017年6月4日(日)

日本の土偶のなかでも最も著名な土偶といえ、右下の亀ヶ岡出土の遮光器土偶。縄文時代も終わりを迎える頃に東北地方で作られました。デフォルメされたユニークな顔や体はもとより、冠のような装飾や全身を包み込むような文様もまた見どころです。

この土偶が作られた当時の東北地方には、亀ヶ岡文化が広がっていました。縄文文化の華とも讃えられる亀ヶ岡文化は、隣接する北海道や関東地方だけではなく、遠く離れた北陸や中部、そして東海地方にも影響を



◎遮光器土偶
青森県つがる市木造亀ヶ岡出土 縄文時代(晩期)・前1000～前400年 亀ヶ岡文化の本場から出土した遮光器土偶。これが各地のお手本となりました

及ぼしています。

この証となるのが、今回展示する遮光器土偶たちです。ときに持ち運ばれ、ときに入づてに聞いて作られた遮光器土偶の物語。造形的な魅力はもちろんのこと、縄文時代の人びとの交流や祈りのありようにも思いをはせながら、ぜひご覧になってください。

(品川欣也)



◎遮光器土偶
静岡県川根町上長尾夕宮出土 縄文時代(晩期)・前1000～前400年 完全な形の残る遮光器土偶としては最も西の出土例です

●法隆寺宝物館 第4室

約13000年前に渡来した琴の姿

国宝 七弦琴

11月29日(火)〜2017年1月22日(日)

孔子が琴樂を好んだとされることから、琴の演奏は中国では士人のたしなみとして伝承されました。琴は日本へは奈良時代に伝わり、七弦琴ともよばれます。正倉院宝物と法隆寺献納宝物のなかに、当時の七弦琴が残されています。

法隆寺献納宝物の七弦琴は桐材で作った本体に黒い漆を塗り、上面には丸く切った貝片13個を一行にはめ込んで、指で弦を押える場所を表しています。また胴の内部には開



◎七弦琴

唐時代・開元12年(724)
七弦琴は古来より奏者自身が楽しむ楽器であるため、音量はあまり大きくないそうです

元十二年歳在甲子 五月五日 於九隴縣造」という墨書があり、唐時代、玄宗皇帝が在位していた開元12年(724)に、四川省成都市に近い九隴県で制作されたことが明らかで、制作年代と制作地がわかる最古の七弦琴です。漆塗膜の表面にはたくさんの断面(細かい亀裂)が入り、この琴が経てきた長い年月を象徴しています。

(竹内奈美子)

1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報

38

X線CT調査での他機関との連携

2016年春から夏にかけて上野の国立科学博物館(以下、科博)で開催された「恐竜博2016」に当館が関わっていたことは、ご存じない方が多いのではないのでしょうか?

当館と科博は斜向いにありますが、研究分野が違っても、近くて遠いお隣様でした。しかし昨今は上野地区全体で文化財を守り、発信していく気運が高まっております、両館でもさまざまな連携が進んでいます。

特に2014年にX線CTスキャナー(以下、CT)を当館に導入してからは、同装置を用いた共同調査が進んでいます。「恐竜博2016」では、展示中かつクリーニング作業中のサウロルニトレステス(鳥類に近縁な肉食恐竜)

化石のCT調査を行い、CT撮影技術の研究と未クリーニング部分の作業前状態確認ができました。

CTを用いた調査は科博以外にも国内外の美術館博物館をはじめ、大学、修理工房、寺社、行政機関などとの共同調査を数多く行っています。共通の道具を用いて分野や組織を超えて文化財を守り、交流を深めていくことを今後も進めてまいります。

(荒木臣紀)



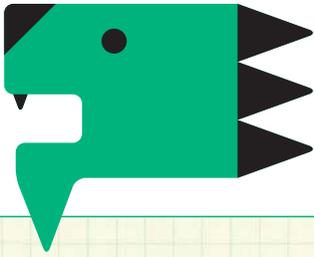
サウロルニトレステス化石のCT調査の様子



サウロルニトレステス化石のCT画像



サウロルニトレステス化石のクリーニング作業の様子(写真提供:国立科学博物館)



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 教育センター

教育普及事業

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

講演会

月例講演会「中国の女帝と石仏」

日時:12月10日(土) 13:30~15:00

講師:勝木言一郎(教育講座室長)

東洋館では中国陝西省西安の宝慶寺からもたらされた如来三尊仏龕という石仏を数多く展示しています。これらは中国の唯一の女帝であった則天武后にゆかりの石仏です。如来三尊仏龕を中心に東洋館に展示されている石仏の魅力について解説します。

月例講演会「謎の青銅器、銅鐸」

日時:2017年1月21日(土) 13:30~15:00

講師:井上洋一(学芸企画部長)

江戸時代から研究されながらその実態が未だにつかめない銅鐸。この謎の青銅器をさまざまな角度から捉え、少しでもその実態に迫りたいと思います。

*会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)。
*開場は開始の30分前(予定)。

ギャラリートーク

南の島の暮らし *関連展示:本誌6ページ

日時:12月6日(火) 14:00~14:30 平成館企画展示室

講師:猪熊兼樹(出版企画室主任研究員)

南太平洋の島々で先祖や精霊をあがめて暮らす人々の生活道具を見てみましょう。



中国地方東部の古墳文化

日時:12月13日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室

講師:河野正訓(考古室研究員)

吉備・伯耆・因幡で育まれた特色ある古墳文化をご紹介します。

明治20年代の文化財調査 *関連展示:本誌7ページ

日時:12月20日(火) 14:00~14:30 本館15室

講師:三輪紫都香(150年史編纂室アソシエイトフェロー)

明治21~30年の間に臨時全国宝物取調局によって行なわれた文化財調査の活動を、調査対象となった作品や調査記録を通してご紹介します。

古代の染織製天蓋

日時:2017年1月17日(火) 14:00~14:30 東洋館ミュージアムシアター

講師:澤田むつ代(客員研究員)

天蓋とは仏像の頭上などを飾った染織製のものです。法隆寺に伝来した「絹傘」や「織物天蓋残欠」と正倉院伝来の天蓋残欠との違いをご紹介します。

董其昌とその時代—明末清初の連綿趣味— *関連展示:本誌10ページ

日時:2017年1月24日(火) 14:00~14:30 東洋館8室

講師:富田淳(学芸研究部長)

董其昌の出現によって、中国書画の流れは大きく変わりました。董其昌の実像に迫ります。

陶片を語る—中国唐、宋の青磁

日時:2017年1月27日(金) 18:30~19:00 東洋館5室

講師:三笠景子(東洋室主任研究員)

東京国立博物館が収蔵する陶片コレクションから、中国の唐・宋時代に作られた青磁の魅力に迫ります。

あなたも博物館でボランティア

日時:2017年1月31日(火) 14:00~14:30

本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師:鈴木みどり(ボランティア室長)

見学だけじゃもったいない。こんな関わり方もあります。ボランティアになるには? やりがいは何? トーハクボランティアのあれこれをご紹介します。

ボランティアさん大活躍だよ



東京藝大大学院インターンによるギャラリートーク

毎年好評の藝大生によるギャラリートーク。今年度は、本館、東洋館、法隆寺宝物館、平成館で行います。(各回15:30~15:50)

古代エジプトの秘密、ミイラ

12/8(木)・11(日)・22(木)、2017/1/8(日)・14(土)・24(火)

解説:権祥海 東洋館3室(集合:東洋館エントランス)

3000年近く前に作られたミイラは何を語っているのか、その謎めいた世界をご紹介します。

下村観山「弱法師」を読み解く

12/10(土)・15(木)、2017/1/7(土)・12(木)・19(木)・20(金)

解説:下岡史奈 本館18室(集合:本館エントランス)

発表当時より傑作と名高い下村観山の「弱法師」。作品の制作背景や表現からその魅力をご紹介します。

法隆寺の押出仏

12/14(水)・18(日)・21(水)、2017/1/11(水)・18(水)・25(水)

解説:辻角香与 法隆寺宝物館第2室(集合:法隆寺宝物館エントランス)

飛鳥時代に現れた押出仏、その特色を当時の国際色豊かな文化とともにをご紹介します。

英一蝶の「富士山図」を覗よう

2017/1/5(木)・15(日)・22(日)・26(木)、2/2(木)・5(日)

解説:水谷文美 本館8室(集合:本館エントランス)

描かれた富士山の姿を手がかりに、英一蝶の風俗画家としての表現をひも解きます。

奈良時代の乾漆像「日光菩薩坐像」に迫る!

2017/1/28(土)、2/17(金)・21(火)・22(水)、3/1(水)・10(金)

解説:樺原千寿帆 本館1室(集合:本館エントランス)

柔らかな肌にしなやかな衣。リアルを求めた奈良時代の仏像の魅力をたっぷりとお伝えします。

アイヌの飾太刀にみる折りの造形

2017/1/29(日)、2/1(水)・8(水)・15(水)・24(金)・28(火)

解説:石坂玲 本館16室(集合:本館エントランス)

儀礼に用いられたアイヌの飾太刀。その装飾と形から、折りの造形感覚を読み解きます。

「突線鈕5式銅鐸」をじっくり見てみよう

2017/2/9(木)・11(土・祝)・16(木)・23(木)・25(土)、3/2(木)

解説:宮澤大

平成館考古展示室(集合:平成館考古展示室入口)

銅鐸のなかでも最大の大きさを誇る突線鈕5式銅鐸をじっくり見つけなおし、魅力を再発見します。

*事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問合せください。TEL:03-3822-1111(代)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。

五感を使った美術体験 ツアー・ワークショップ

事前申込制 [往復はがき]

バックヤードツアー 保存と修理の現場へ行こう

文化財の保存と修理についての解説およびバックヤードツアーを行います。ツアーでは関連展示や修理室、さらに大型CTスキャナー、X線による分析機器をご案内します。

日時：2017年3月23日(木) 13:30~16:30
 定員：60名(応募者多数の場合は抽選)
 参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)
 申込方法：往復はがきでお申し込みください。「往信用裏面」に(1)氏名・ふりがな、(2)郵便番号・住所、(3)電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。*1枚のはがきで1名のみ申込可。
 申込締切：2017年1月31日(火) 必着
 申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
 東京国立博物館教育講座室「バックヤードツアー」係
 お問い合わせ：TEL 03-3822-1111(代) 教育講座室



事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ファミリーツアー&子どもツアー

トーハク劇場へようこそ!

考古学をテーマにした演劇形式のツアーです。劇場にお芝居を観に行くような、わくわくした気分で楽しんでください。

ファミリーツアー
 ①12月18日(日) 10:00~11:00 ②12月23日(金・祝) 10:00~11:00
 子どもツアー
 ③12月18日(日) 13:00~14:00 ④12月23日(金・祝) 13:00~14:00
 対象：ファミリーツアー(①、②)は小学1~3年生とその保護者
 子どもツアー(③、④)は小学4~6年生(保護者の見学可能、ただし混雑時を除く)
 定員：①、②は各回10組、③、④は各回20名(いずれも応募者多数の場合は抽選)
 参加費：いずれも無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)
 申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申込みください
 ※子どもツアー(③、④)は対象年齢内であれば、1回の入力で3人まで申込可。
 申込締切：12月8日(木) 必着
 お問い合わせ：TEL 03-3822-1111(代) 教育普及室

あなたの鑑賞をサポート ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

こどもたちのアートスタジオ まがたま 勾玉作り

平成館考古展示室の勾玉を見学した後に、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

日時：2017年2月5日(日) 13:30~15:30
 会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
 対象：小学3年生~中学生(保護者の見学可能)

定員：20名程度(応募者多数の場合は抽選)
 参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)
 申込方法：当館ウェブサイトのフォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合は、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、学年、(2)参加者の郵便番号・住所(2名の場合は、それぞれの住所)、(3)代表者の電話番号、(4)保護者が一緒の場合はその人数を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。
 申込締切：2017年1月9日(月・祝) 必着
 申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
 東京国立博物館ボランティア室「2月5日勾玉作り」係
 お問い合わせ：TEL 03-3822-1111(代) ボランティア室

東博ボランティアデー 2016

12月3日(土)・4日(日)に「東博ボランティアデー」を開催します。皆さんにトーハクでの時間を「より楽しく」「より快適に」過ごしていただくために、当館では155名のボランティアが活動しています。ボランティアデーではボランティアによるすべての催しと、当日限定のボランティア活動紹介ツアーなども行います。2日間のスケジュールは、以下のとおりです。

- ◆ボランティア活動紹介ツアー
 実際の活動現場を現役ボランティアがご案内します。トーハクのボランティア活動に興味をもっている方は、直接会話をするチャンスです!
 時間：10:30~11:30、12:30~13:30(随時受付、ツアー時間は30分程度)
 受付：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
- ◆ボランティア募集説明会
 平成29年度のボランティアへの応募をお考えの方に、概要と活動の仕組み、応募方法についてご説明します(応募に際し、参加必須ではありません)。
 時間：10:00~10:30、12:00~12:30、16:00~16:30(すべて同内容)
 場所：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

- ◆ボランティアによるガイドツアー
 12月3日(土)：考古展示室ガイド、たてもの散歩ツアー、彫刻ガイド、刀剣・武士の装いツアー、陶磁ガイド、樹木ツアー、本館ハイライトツアー、庭園茶室ツアー、法隆寺宝物館ガイド
 12月4日(日)：東洋館ツアー、アートスタジオ、お茶会、たてもの散歩ツアー、彫刻ガイド、英語ガイド、近代の美術ガイド、本館ハイライトツアー、浮世絵ガイド、考古展示室ガイド、法隆寺宝物館ガイド
 お問い合わせ：TEL 03-3822-1111(代) ボランティア室
- ※ガイドツアーの集合場所、時間などの詳細は本誌カレンダー(16ページ)、チラシ、当館ウェブサイト、当日の館内案内をご覧ください。
- ※ボランティアデーの催しは、お茶会を除いて参加無料。ただし、当日の入館料が必要。
- ※お茶会(先着15名)、庭園茶室ツアー(先着18名)は開始30分前に集合場所で整理券を配布します。
- ※アートスタジオは事前申込制(申込みは締め切りました)。

トーナるほーくんの トーナるほーく

広報大使就任1年目を総括!

トーハクくんとユリノキちゃんは、今春のトーハク広報大使就任以来、さまざまな活動をしてきました。広報大使就任1年目を総括し、それぞれの思い出に残るNo.1を大発表!

トーハクくんの No.1
ゆるキャラ® グランプリ 2016
 in 愛顔のえひめ

京都国立博物館のトラりんと一緒に愛媛へ。トーハクをいっぱいPRできたしおいしいものも食べたし、とっても楽しかったほ。来年はもっと上位を狙うほ。みんな応援よろしくだよ!



ユリノキちゃんの No.1
ミュージアムシアター「熊本城」
 イベント

人気者のくまモンと共演しました。さすがくまモン、たくさんのお客様が会いにきてくれて、私ってこんなに人気があるの!? って勘違いしちゃったわ。くまモン体操も事前に練習して3人で踊ったのよ。



広報室長の No.1
子どものためのとくべつな1日
 「トーハクキッズデー」

日本の楽器のコンサートに参加したり、考古の解説をした縄文人・弥生人のお兄さんらと記念撮影したり、大活躍! たくさんのお子さんたちに囲まれて、2人ともとっても楽しそうでした。



東京国立博物館 新たな会員制度のお知らせ

当館では、さまざまな特典をご用意した会員制度を設けています。この度、従来の「ベーシック」「パスポート」「友の会」に替わる、新たな制度に移行することになりました。販売・利用開始は2017年4月1日(土)からです。新制度は「メンバーズパス(一般2,000円/学生1,000円)」「メンバーズプレミアムパス(一般5,000円/学生3,500円)」「友の会(8,000円)」の3種類です。「メンバーズパス」は、「メンバーズパス」の特典に加えて当館の特別展観覧券(4枚)が付き、「友の会」は、「メンバーズパス」の特典に加えて当館の特別展観覧券(6枚)が付き、そのほか本誌の定期郵送やレストランの割引などさまざまな特典があります。詳細は当館ウェブサイトほかで随時お知らせします。

国際シンポジウム「日本美術をみせる—リニューアルとリノベーション—」

近年国内外で行われているリニューアルとリノベーションをテーマに、日本美術が日米欧でどのように展示され、そこから何を伝えようとしているのかを論じ、それぞれの違いから、日本美術の本質に迫ります。

日時:2017年1月28日(土) 13:30~17:45(開場13:00) *休憩あり
1月29日(日) 10:00~17:15(開場9:30) *休憩あり

会場:平成館大講堂

発表者:ルパート・フォークナー博士(イギリス・ヴィクトリア&アルバート博物館)、レイチェル・サンダース博士(アメリカ・ハーバード大学美術館)、アレクサンダー・ホーフマン博士(ドイツ・ベルリン国立アジア美術館)、岩田茂樹上席研究員(奈良国立博物館)ほか

聴講無料 *同時通訳付

定員:各日300名(事前申込制、先着順)

申込方法:当館ウェブサイトのフォームでお申込みください

お問合せ:TEL 03-3822-1111(代) 総務課イベント担当

休館・閉室情報

下記の施設を一時閉室・休館しています。

本館2階:12月12日(月)~2017年1月1日(日・祝) [展示環境整備のため]
表慶館:当面の間(特別展・イベント開催を除く) [展示環境整備のため]

ボランティア募集のお知らせ

平成29年度 東京国立博物館ボランティア募集

東京国立博物館では、博物館を安心して楽しんでいただけるよう、ボランティアが活躍しています。館内での来館者対応を中心に、イベントなどの補助や、さまざまなガイドツアーも行っています。今回、平成29年4月から3年間の任期のボランティアを約50名募集します。東博ボランティアデー(12月3・4日)では、募集説明会を行いますので、お気軽にご参加ください(当日の入館料が必要)。応募受付は、12月12日(月)~2017年1月12日(木)です。あなたもトータルでボランティアをしてみませんか? 詳細は、当館ウェブサイトでご案内します。
お問合せ:TEL 03-3822-1111(代) ボランティア室



中国国家博物館で「15-19世紀日中韓絵画」展開催中

当館の共同企画による「15-19世紀日中韓絵画」展が、中国国家博物館で開催されています。この展覧会は、2006年より実施されている日本、中国、韓国3カ国の国立博物館長会議に基づく活動の一つで、2014年に当館で開催された特別展「東アジアの華 陶磁名品展」に続く第2回目の国際共同企画展です。今回は、3館の15世紀から19世紀を代表する絵画の名品を文人絵画、風俗絵画、仏教絵画の3つのテーマで展示するもので長い交流の歴史をもつ3カ国の絵画作品をテーマごとに比較することにより、文化的影響関係と独自の特徴を見ることができます。展覧会は12月18日(日)まで開催しています。



東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。

◎年会費

〈団体〉プレミアム会員 1,000万円以上

特別会員 100万円(1口)

維持会員 20万円

〈個人〉プレミアム会員 100万円以上

特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

◎申込方法

当館窓口のほか、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込で随時受け付けています。

◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2016年11月16日現在

特別会員

日本電設工業株式会社様
株式会社 コア様
大日本印刷株式会社様
毎日新聞社様
株式会社大林組様
朝日新聞社様
株式会社ホールオーケストラプライズ様
株式会社ミロク情報サービス様
読売新聞社様
三菱商事株式会社様
凸版印刷株式会社様

維持会員 団体

株式会社 三冷社様
株式会社 東京美術様
日本通運株式会社 美術品事業部様
株式会社 安井建築設計事務所様
株式会社 ナガホリ様
松本建設株式会社様
株式会社 古美術数本様
謙慎書道会様
近代書道研究所様
日本畜産興業株式会社様
株式会社 東京書芸館様

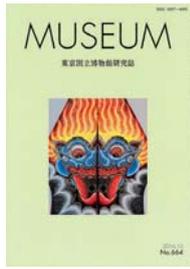
株式会社 グラスバウハーゲン・ジャパン様
株式会社 デュナミス様
キョーマン株式会社様
公益社団法人 創玄書道会様
朝陽書道会様
一般社団法人 書芸文化院様
株式会社 精養軒様
株式会社 都市環境企画画
日本空輸株式会社様
株式会社 清光社様
有限会社 アトリエ・エビス様

個人

プレミアム会員	榎田良豊様	川澄 祐勝様	田中 望様	鈴木 徹様	岡田 良雄様	新保 幸男様	伊藤 彰信様	田辺 修一様	榎上 静香様	庄司 浩様	田島 ヨシ江様
岩間 良孝様	長谷川 英樹様	神通 豊様	三井 遠雄様	今里 美幸様	阿部 和加子様	中野 俊介様	小林 浩和様	竹内 明世様	岩佐 恵子様	三宮 信秀様	沼尻 昭様
特別会員	池田 孝一様	神通 豊一様	坂詰 貴司様	櫻井 忠様	篩田 久子様	井出 宗則様	加藤 正毅様	平田 泰之様	杉浦 礼子様	白坂 智恵子様	小森 義記様
木村 剛様	永久 幸範様	吉田 靖様	加藤 孝明様	加藤 孝明様	井茂 圭洞様	土屋 和彦様	蔵口 真理様	武井 伸之様	向山 裕子様	大貫 健司様	那須野 さや佳様
辻 泰二様	観世 あすか様	石川 公子様	松本 雅彦様	伊佐 健二様	高味 良信様	確田 榮一様	宮下 雅博様	羽石 史生様	山上 啓祿様	茂木 敏雄様	佐藤 直哉様
谷川 紀彦様	星屋 由尚様	永田 実香様	篠田 嘉弘様	軽部 由香様	廣田 穰様	加納 隼人様	川上 宗晋様	前田 寿子様	田中 眞知子様	中井 健二様	筑紫 みづえ様
佐久間 基晴様	渡辺 章様	西岡 宏宏様	片山 正紀様	木越 純様	杉山 恭規様	林 和人様	田代 雅彦様	笠原 勉様	高田 明典様	萩原 美恵子様	鈴木 幸一様
福田 哲行様	福垣 哲行様	友景 紀子様	伊藤 喜雄様	井上 保様	笹森 美子様	清水 透石様	昆 政彦様	高木 益司様	小野 透様	石井 延隆様	水野 和良様
飯岡 雄一様	飯岡 雄一様	東野 治之様	井上 雄吉様	田中 信様	高橋 明子様	野本 陽代様	中村 伸夫様	小河 恭子様	竹中 洋介様	佐々木 裕明様	土志田 嘉様
維持会員	高瀬 正樹様	松下 佳宏様	細川 要子様	岡崎 子様	村井 明美様	佐藤 美善様	高橋 薫様	田中 三伊様	藤本 隆一様	鶴谷 舞様	
伊藤 信彦様	坂井 俊彦様	竹原 聡様	錦織 伸一様	古川 晴記様	小塚 泰博様	青山 慶生様	清田 志郎様	黒河 英俊様	本條 陽子様	原田 清昭様	ほか121名3社、順不同
数内 匡人様	寺浦 信之様	野澤 智子様	秋元 文子様	菊地 昌之様	星 八郎様	谷内 英一様	宮川 寛子様	岩本 みち子様	山神 英司様	井田 悦郎様	
服部 悦子様	高木 美華子様	坂田 浩一様	土師 詔三様	若本 光雄様	西永 義久様	樋口 順一様	佐野 淑子様	堀川 佳津美様	長井 真理様	横田 泰三様	
高田 朝子様	古屋 光夫様	上塚 建次様	山本 隆幸様	山本 隆幸様	田中 諭山様	植木 篤様	中村 光宏様	瀧本 篤様	森本 文子様	和田 文彦様	
齋藤 京子様	根田 穂美子様	秦 芳彦様	鏡 賢志様	鈴木 春樹様	田浦 宏己様	長崎 益子様	菅野 良子様	秋元 幸雄様	田頭 敦子様	北田 知佳乃様	
齋藤 邦裕様	松本 澄子様	高木 昌巳郎様	鏡 口圭也様	山上 知子様	山中 翠谷様	富山 仁美様	中島 米治郎様	中山 安弘様	牧 裕子様	北山 卓様	
和田 喜美子様	是常 博様	高梨 左衛門様	渡邊 雪絵様	名取 幸二様	荒木 章様	渡辺 陽美様	田中 久丸様	鈴木 健之様	南 佳子様	眞鍋 敏子様	
佐々木 芳絵様	上野 孝一様	渡久地 ツル子様	佐藤 禎一様	増淵 信義様	関口 大志様	鈴木 深良様	神田 勇雄様	野田 和佳子様	沖 斗南様	荒井 淳子様	
藤原 紀男様	北山 喜立様	汐崎 正様	田中 榮二様	要 英範様	山口 衛様	今村 正様	森田 美生様	木村 則子様	羽田 由紀夫様	伊藤 建次郎様	
中川 俊光様	山田 泰子様	平井 千恵子様	山口 隆司様	安田 格様	榊澤 剛志様	李 雲莉様	石飛 博光様	水田 涉子様	伊藤 隆様	宮森 景子様	
関谷 徳衛様	柴田 隆子様	高山 道夫様	原 一之様	鳥山 玲様	小日向 志乃様	福田 扶美様	清原 真里様	吉原 剛一様	茂木 一郎様	金光 秀行様	
高橋 守様	網村 安代様	青木 静雄様	会田 健一様	尾崎 邑輪様	松前 達郎様	福武 正廣様	重田 綾子様	重田 綾子様	岡藤 寛幸様	山原 善子様	
小澤 桂一様	白井 生三様	田中 千秋様	桐岡 政義様	栗山 哲夫様	佐藤 貴士様	竹内 和世様	三浦 基広様	五嶋 滋之様	山見 勝彦様	大山 仁様	
上久保 のり子様	津久井 秀郎様	高見 康雄様	相良 多恵子様	榎本 享世様	横田 隆義様	岡野 一昭様	金光 真佐一様	笹川 統様	安齋 未來様	小田 周平様	

『MUSEUM』664号(2016年10月15日発行)の掲載論文

- ①「X線画像による古代中国封泥の研究」
谷豊信(当館特任研究員)
 - ②「前賢故実の史的位置」
中野慎之(京都府教育庁文化財保護課)
 - ③「『資料紹介』田枝豪氏収集のワヤン・クリ」
白井克也(当館考古室長)
- お問合せ: 当館ミュージアムショップまたは
中央公論事業出版(電話:03-5244-5723)
定価:1,543円(税込)



TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

① VR作品 金碧障壁画を巡るVRツアー「安土城から檜図、そして二条城へ」
9月28日(水)～12月23日(金・祝)

② VR作品『江戸城の天守』(仮)

2017年1月4日(水)～3月31日(金)(予定)

徳川家光によってつくられた史上最大にして江戸城最後の天守。その巨大な木造建築には当時最高峰の技術が注がれました。明暦の大火で焼失した天守は、いったいどんな姿をし、どのようにつくられたのでしょうか? 図面や絵図、現在も残る文化財などを手がかりに、天守の部材ひとつひとつまで精緻に再現した映像を見ながら、歴史考証をお楽しみいただきます。



VR作品
『江戸城の天守』(仮)より

料金: 一般・大学生・高校生:500円 小学生・中学生:300円
未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料(1作品/1回あたり)

*2017年1月2日(月・休)・3日(火)はお正月イベントとして、鑑賞無料です。②を上演します。
詳細は本誌3ページ参照。

- *総合文化展とセット購入で一般:1,000円/大学生800円
- *所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
- *演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
- *詳細はウェブサイトをご覧ください。 URL <http://www.toppa-vr.jp/mt/>

新春東博寄席2017

日時:2017年1月8日(日) 開演13:30(開場13:00)
会場:平成館大講堂
出演:金原亭馬生、古今亭菊春、金原亭馬治、金原亭馬玉、金原亭馬久
料金:2,000円(全席自由)
*当日は、公演のチケットで総合文化展をご観覧いただけます。

〈チケットのお求め方法〉

- 当館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)
- ローソンチケット(Lコード:34259)
TEL:0570-000-407(10:00～20:00オペレーター対応)
0570-084-003(24時間自動音声、要Lコード)
ウェブサイト:<http://l-tike.com/>

直接購入:ローソン・ミニストップ店頭Loppi
お問合せ:TEL 03-3822-1111(代) 総務課イベント担当
*イベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。



特別展「春日大社 千年の至宝」チケット、または
2017年東京国立博物館カレンダープレゼント

本誌4ページでご紹介した特別展「春日大社 千年の至宝」(2017年1月17日(火)～3月12日(日))の無料観覧券(10組20名様)または東京国立博物館のオリジナルカレンダー(5名様)を抽選でプレゼントします。締切は2017年1月23日(月)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ご希望のプレゼント(チケットまたはカレンダー)、ならびにこの号で一番おもしろかったページをご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館 広報室「ニュース12・1月号」プレゼント係



東京国立博物館利用案内

開館時間:

- 9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)
- 総合文化展は金・土曜日は20時まで開館
- 12月までの金曜日は特別展も20:00まで開館
- いずれの場合も黒田記念館は17:00まで

休館日:

- 月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌平日休館)、
年末年始(12月24日(土)～2017年1月1日(日・祝))
- *特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金:

- 一般=620(520)円 大学生=410(310)円
- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、
Twitter、Instagram、メールマガジンで!
東京国立博物館ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>

*各種イベントのお申込に際してご提供いただいた個人情報、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

東京国立博物館ニュースの定期購読

年間(6冊分)を1,000円の送料・事務費でご自宅にお届けします。パスポート・ベーシックと同時申し込みで100円割引(会員期間と同一期間の購読に限る)。
*次号よりご送付希望の場合、締切は2017年1月10日(火)です。

東京国立博物館友の会&パスポート

- 友の会** 発行日から1年間有効
年会費 10,300円
*年会費10,300円 ※継続入会(パスポート・ベーシックを含む)の場合は9,800円
【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。特別展観覧券(12枚)の配布、そのほか本誌の定期郵送など様々な特典があります。

- パスポート** 発行日から1年間有効
一般 4,100円
29歳以下 3,000円
学生 2,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも、特別展は1回ずつ計6回まで観覧可能です。

- ベーシック** 発行日から1年間有効
一般 1,500円
29歳以下 1,100円
学生 900円

【特典】東京国立博物館の総合文化展を何度でも観覧できます。

◎お問合せ
電話 03-3822-1111(代)友の会・パスポート担当
FAX03-3821-9680

▶各種お申込みは当館窓口・ウェブサイトまたは郵便振替で

【ウェブサイト】
申込フォームよりお申し込みください。クレジットカードによる電子決済をご利用いただけます。

【郵便振替でのお申込】

- 振替用紙に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください。
- 振替用紙の半券が領収書になります。有効期間終了まで保管しておいてください。
- 振替手数料はおお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号 00160-6-406616
●振替用紙には申込区分(新規・継続)を記入し、[継続]の方は、有効期限内の会員証等のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

東京国立博物館ニュースの定期購読・パスポート・ベーシック

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート&ニュース
口座番号 00140-1-668060
●パスポート・ベーシックを申し込みの場合、振替用紙に申込区分([パスポート・ベーシック][一般・29歳以下・学生])を記入し、[29歳以下]・[学生]の方は、年齢のわかる身分証明証のコピーを郵送またはFAXでお送りください。
*一度納められた料金の払戻はいたしません。

1木	東 11:00	特別展「平安の秘仏—滋賀・樂野寺の大観音とみほとけたち」 秋の庭園開放
2金	夜間開館(20:00まで) 法 15:00	
3土	夜間開館(20:00まで、総合文化展のみ) 東博ボランティアデー 朝 10:30 昼 11:10(手話付) 影 11:50 夕 12:20 夜 13:00 樹 13:30 本 14:00 法 14:00 法 15:10	
4日	東博ボランティアデー 東 10:30 茶 11:00、13:00 昼 11:10 影 11:50 英 11:50 近 12:40 本 13:10 作 13:30*1 浮 13:50 考 14:30 法 15:10	
5月	休館日	
6火	G「南の島の暮らし」14:00 平成館企画展示室 昼 11:00	
7水		
8木	藝「古代エジプトの秘密、ミイラ」15:30 東洋館エントランス 庭 14:00	
9金	夜間開館(20:00まで) 英 14:00	
10土	夜間開館(20:00まで、総合文化展のみ) 講「中国の女帝と石仏」13:30 平成館 大講堂 藝「下村観山『弱法師』を読み解く」15:30 本館エントランス	
11日	英 11:00 近 13:00 浮 14:00 東京国立博物館 クリスマスコンサート 14:30 平成館 ラウンジ*2 影 15:00 藝「古代エジプトの秘密、ミイラ」15:30 東洋館エントランス	
12月	休館日	
13火	G「中国地方東部の古墳文化」14:00 平成館考古展示室	
14水	藝「法隆寺の押出仏」15:30 法隆寺宝物館エントランス	
15木	影 15:00 藝「下村観山『弱法師』を読み解く」15:30 本館エントランス	
16金	夜間開館(20:00まで) 樹 13:30	
17土	夜間開館(20:00まで) 昼 11:00 法 15:00	
18日	東 11:00 茶 12:30、14:00 考 14:30 W「トーハク劇場へようこそ!」ファミリーツアー 10:00、子どもツアー 13:00 藝「法隆寺の押出仏」15:30 法隆寺宝物館エントランス	
19月	休館日	
20火	G「明治20年代の文化財調査」14:00 本館 15室	
21水	藝「法隆寺の押出仏」15:30 法隆寺宝物館エントランス	
22木	藝「古代エジプトの秘密、ミイラ」15:30 東洋館エントランス	
23金	夜間開館(20:00まで) W「トーハク劇場へようこそ!」ファミリー ツアー 10:00、子どもツアー 13:00	
24土	休館日	
25日	休館日	
26月	休館日	
27火	休館日	
28水	休館日	
29木	休館日	
30金	休館日	
31土	休館日	

1日・祝	休館日	
2月・休	新春イベント*3	博物館に初もうで
3火	新春イベント*3	
4水		
5木	東 11:00 藝「英一蝶の『富士山図』を觀よう」15:30 本館エントランス	
6金	夜間開館(20:00まで) 法 15:00	
7土	夜間開館(20:00まで) 樹 13:30 本 14:00 藝「下村観山『弱法師』を読み解く」15:30 本館エントランス	
8日	新春東博寄席 2017 13:30 平成館大講堂*4 近 13:00 浮 14:00 考 14:30 影 15:00 藝「古代エジプトの秘密、ミイラ」15:30 東洋館エントランス	
9月・祝		
10火	休館日	
11水	藝「法隆寺の押出仏」15:30 法隆寺宝物館エントランス	
12木	庭 14:00 藝「下村観山『弱法師』を読み解く」15:30 本館エントランス	
13金	夜間開館(20:00まで) 英 14:00	
14土	夜間開館(20:00まで) 本 12:00 陶 14:30 藝「古代エジプトの秘密、ミイラ」15:30 東洋館エントランス	
15日	東 11:00 英 11:00 茶 12:30、14:00 浮 14:00 考 14:30 藝「英一蝶の『富士山図』を觀よう」15:30 本館エントランス	
16月	休館日	
17火	特別展「春日大社 千年の至宝」 G「古代の染織製天蓋」14:00 東洋館ミュージアムシアター	
18水	藝「法隆寺の押出仏」15:30 法隆寺宝物館エントランス	
19木	影 15:00 藝「下村観山『弱法師』を読み解く」15:30 本館エントランス	
20金	夜間開館(20:00まで、総合文化展のみ) 樹 13:30 藝「下村観山『弱法師』を読み解く」15:30 本館エントランス	
21土	夜間開館(20:00まで、総合文化展のみ) 講「謎の青銅器、銅鐸」13:30 平成館大講堂 昼 11:00(手話通訳付) 本 14:00 法 15:00	
22日	法 13:00 浮 14:00 影 15:00 藝「英一蝶の『富士山図』を觀よう」15:30 本館エントランス	
23月	休館日	
24火	G「董其昌とその時代—明末清初の連綿趣味—」14:00 東洋館8室 藝「古代エジプトの秘密、ミイラ」15:30 東洋館エントランス	
25水	【春日】南都楽所の演奏会 11:00、14:00 平成館大講堂 昼 11:00 藝「法隆寺の押出仏」15:30 法隆寺宝物館エントランス	
26木	本 14:00 藝「英一蝶の『富士山図』を觀よう」15:30 本館エントランス	
27金	夜間開館(20:00まで、総合文化展のみ) G「陶片を語る—中国唐、宋の青磁」18:30 東洋館5室	
28土	夜間開館(20:00まで、総合文化展のみ) 国際シンポジウム「日本美術をみせる—リニューアルとリバー ション—」13:30*5 夕 13:30 藝「奈良時代の乾漆像『日光菩薩坐像』に迫る!」15:30 本館エントランス	
29日	国際シンポジウム「日本美術をみせる—リニューアルとリバーション—」10:00*5 藝「アイヌの飾太刀にみる折りの造形」15:30 本館エントランス	
30月	休館日	
31火	G「あなたも博物館でボランティア」14:00 本館地下教育普及 スペース (3/12まで)	

【春日】＝特別展「春日大社 千年の至宝」関連事業。詳細は本誌5ページ *1 事前申込制。申込は締め切りました *2 有料イベント。チケットは完売しました
*3 「博物館に初もうで」関連イベント。詳細は本誌3ページ *4 有料イベント。詳細は本誌15ページ *5 事前申込制。詳細は本誌14ページ

講＝月例講演会等、詳細は本誌12ページ(特別展関連事業については、当該ページ)

G＝ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ

W＝ファミリーツアー、子どもツアー、詳細は本誌13ページ

☎＝託児サービス実施日(12:30～15:30) 事前予約制 有料

作＝ボランティアによる子どもたちのアートスタジオ 事前申込制

本＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館エントランス

浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所：本館エントランス

陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所：本館エントランス

影＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館エントランス

樹＝ボランティアによる樹木ツアー、集合場所：本館エントランス

考＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：平成館考古展示室入口

英＝ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所：本館エントランス

茶＝ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所：本館エントランス(参加費500円、先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布)

庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所：本館エントランス(先着18名、開始30分前に集合場所で整理券配布)

昼＝ボランティアによるたての散歩ツアー、集合場所：本館エントランス

近＝ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所：本館エントランス

夕＝ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所：本館エントランス

東＝ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所：東洋館エントランス(12月は「仏像の旅」、1月は「東洋館ハイライト」をご案内します。12月4日は特別バージョン)

法＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所：法隆寺宝物館エントランス

藝＝藝大インターンによるギャラリートーク。詳細は本誌12ページ

*屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。